

スウェーデン中北部を南北に縦断する インランズバーナン(Inrandsbanan/内陸鉄道)には 珍しい鉄橋があります ピーテ川(Pite Älven)にかかるこの橋は 列車と自動車が共同利用する「鉄道併用橋」なのです 乗客の希望者は列車を降りて 川の眺めを楽しみながら 歩いて橋を渡ることもできます その間橋の両端の遮断機が閉まり 自動車はひたすら待っている仕組みです 次にいった時は 自動車で渡ってみたいと思っています



下絵線描です



これが完成した絵です



1. 空から塗ります 雲の影もその直後に描いておきます 次に路面(軌道敷)をブルー・グレーで塗っておきます



4. それぞれの部位に少しずつ色を重ねていきます 一カ所だけ先に仕上げようと思わないで 全体のバランスを考えて



2. 鉄橋 手前の枯れ草 対岸の紅葉の木々を薄く塗っておきます 車輪の左側(側面)に先に影をつけておきます



5. 鉄道車両は前面(顔)が非常に重要です 前面窓の中は 思い切って暗くしたほうが良いです



3. ここで車輪の赤いストライプを入れます ここは筆をゆっくり動かして慎重に



6. 側面に並ぶ窓も基本的には暗くします 「その車輪らしさ」を表現するには 窓の間隔も重要です